

3学期中学終業式校長挨拶(2023年3月22日)

ここに本校中学2年生が作った詩をまとめた詩集があります。中学2年生の国語で「異化」という修辞法を学びます。異化とは見慣れた事柄を非日常的なものに捉え直し新鮮さを取り戻す修辞法です。それを意識した詩集の中からひとつ紹介します。

WAR

戦争が、おこる
ある人は、もうかり、
ある人は、破産して、
ある人は、豪邸を建て、
ある人は、自宅をなくす

WAR

名誉の、負傷
無意味の、名誉
働けない、人生
無償の、名誉
有償の、給料

WAR

戦争に、勝った
くるしむ、民間人
よろこぶ、権力者

WAR

戦争の、ループ
戦争は、続く
人類が、滅ぶまで

この詩は、戦争を止めさせることができず疲れ諦めてしまうような現状に対して、厳しくリアルに問いかける子どもの声だと感じました。武力による問題解決は行わないと国連憲章で決めたのに、現にミサイルで多くの人々が死んでしまっています。戦争のループをストップさせる方法を真剣に考えて行動しなければならないと強く思いました。中学1年生、2年生のみなさん、どんな世界に行きたいか、さらにみんなで考えませんか。最後に。この詩集をじっくり読んで、子どもは様々な面から物を見る天才だと感心しました。春は出会いの季節です。子どもの視点だからこそ見えるコト・モノ・人を発見しましょう。